



## 風力と太陽光を融合

オリコンサルグローバルら

### サウジで再エネ発電実証

オリエンタルコンサルタ  
ンツグローバルと東芝エネ  
ルギーシステムズ（東芝E  
SS、川崎市幸区、島田太  
郎社長）は、サウジアラビ  
ヤで「ハイブリッド再エネ  
発電システム」の実証事業  
に取り組んでいる。風力発  
電と太陽光発電で生み出し  
た再生可能エネルギーを組  
み合わせ、蓄電池システム  
をエネルギー・マネジメン  
ト・システム（EMS）で

統制制御。電力が安定供給  
できる仕組みを構築する。  
実証事業はサウジアラビ  
アの国営企業サウジ・エレ  
クトリシティ・カンパニー  
（SEC）と協力し、新エ  
ネルギー・産業技術総合開  
発機構（NEDO）の支援  
で実施している。実証期間  
は2028年5月まで。

SECがサウジアラビア  
首都・リヤドの郊外に保有  
する既存風力発電設備の実  
証サイトに、太陽光発電設

備と蓄電池システムを設置  
し、統制制御するEMSも  
導入する。蓄電池システム  
には、繰り返し充電して  
も劣化しにくく、再エネ発  
電の変動を抑えられる出  
力型蓄電池と、電力ピーク  
シフトに適した容量型蓄電  
池の2種類を採用。長期に  
わたって使えるようにし  
た。

実証事業を通じて出力変  
動が激しい再エネの安定資  
源化や再エネ余剰電力の活  
用を実現し、既設発電所の  
負荷を抑えられるようにす  
る。温室効果ガス（GHG）  
削減量のモニタリングも行  
う。

オリコンサルグローバル  
は実証設備の全体設計と供  
給、GHG削減量と導入設  
備の経済性の評価を行う。  
東芝ESSは国内外で蓄積  
したEMSと蓄電池システ  
ムの知見を実証設備の設計  
に生かし、実証事業で得ら  
れるデータも解析する。